

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年4月2日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年4月2日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【放射線業務従事者線量等報告書他の記載誤りについて】 「社外報告書におけるトリチウム放出量の記載誤りについて」により範囲を広げ調査したところ、以下の報告書に記載誤りを確認、訂正版に差し替え予定。 ・放射線業務従事者線量等報告書(平成26年度、平成27年度、平成28年度) ・放射線管理等報告書(平成27年度下期)	G II
2	【5号機プロセス計算機基盤故障について】 プロセス計算機の定例点検時に、システム管理画面A系統の基盤温度が41度と74度を表示。 基盤前面表示機能、および各冷却ファンは正常。基盤および温度検出部の故障と考えられるため、交換予定。 なお、B系統が正常に機能しているため問題はない。	G III
3	【5号機オペレータ机上画面表示不良について】 定例点検において、オペレータ机上切り替えスイッチ点検時、机上画面表示が表示されなかった。 当該切り替えスイッチ本体は正常に切り替わることから、受信機側の故障と考えられるため点検予定。 なお、主制御盤でも同様の表示機器が存在するため監視機能に影響はない。	G III